

『夏の元気なご挨拶』

PTA会長 松吉 有理子



昨年より本校のPTA会長をしております、松吉と申します。2年目の割に初々しい（やや語弊があります）会長です、こんにちは。リンノとサエノのお母さんと言った方が馴染みがあるでしょうか。コロナ禍で皆さんに直にお会いできる日も少なく寂しいですが、照れ屋のアラフォーミセスとしてはこのぐらいの距離感で丁度良い様な氣もしています。

さて唐突ですが皆さん。「好き」なものはありますか？最近では「推し」とも言いますか、自分の元気の源になるものです。ひとつある？たくさんある？いいですね！映画にスポーツ、本や音楽にアニメ、もちろん家族。お年頃の皆さんはきっと、悩んだり悩んだり、はたまた悩んだり毎日忙しい。見通しの立たないこんな時代に息詰まることも多い。そんな時に好きなものにふと支えられ踏ん張れたりしませんか。私自身、この歳になっても好きなものに幾度となく支えられています。「自分の好き」「他人の好き」尊重しあってみると人に寛容にもなれたりして。良い事が連鎖します！ぜひ皆さん、それぞれの「大好き」という名の、見返りを求めない純粹な推しパワーをたくさん育ててみて下さいね。青春の彩りに、人生のお供に、きっとお役に立ちますよ。



『上野原西中学校、開校当時の生徒たちの思い』

校長 長谷川 英信



本校は、今より13年前の平成21年4月に巖中学校と平和中学校とが統合して、上野原西中学校として開校しました。その時、私は3学年の主任として巖中学校に勤務していました。開校1年前から両主任が相談し平和中学校の2年生と交流する機会を計画し取り組みました。平和中学校は、私の母校であり保護者の方々の多くは先輩、後輩の関係で知っている方ばかりでした。そのため保護者の思いや不安など直接耳にする機会も多かったのです。とにかく校舎が変わる平和中学校の保護者の方々にとっては、統合を心配している方々が多かったです。ですから、生徒を迎え入れる巖中として平和中の生徒、保護者の不安を払拭するための取組を展開していく必要があります。授業や定期テストの形、部活動、委員会活動、その他の生徒会行事、制服や鞆、きまりの問題、校歌やスクールバスの運用など検討する内容はとても多く合同職員会議を何回も開催しました。いよいよ4月、開校式を皮切りに、「新生上野原西中学校」がスタートしました。3学年主任として学校全体を意識しながら学年運営を進めようと肩に力を入れ、生徒たちに話をしたことを思い出します。しかし、我々職員の心配を跳ね返すくらい、生徒たちは仲良くなり、一緒になって西中を創っていく頑張りをを見せてくれました。両校の生徒から組織した生徒会本部が中心となり、生徒のきまりや、校章、校歌など全校を力強く引っ張り決めていってくれました。生徒たちの力のすごさに感動しました。やはり、学校は生徒たちが創るものであること、大人たちの心配など、生徒たちの力でたやすく乗り越えてしまうことを思い知らされました。あの時、全校生徒が「新しい学校を自分たちの手で創ってこよう」この言葉を合い言葉として全校がまとまり、地域の保護者に安心感を与えたものと確信しています。その後、島田中学校が加わり、力を増して再スタートをしました。旧3校の思いを結集し今があります。今、校長として本校に勤務できることにとても感謝しております。是非、今の西中生には、旧3校の生徒たちの思いを受け継ぎ、更に進化した西中にしてもらいたいと思っています。生徒たちは無限の力を発揮し、コロナ禍に負けない新たな西中を創ってくれると確信しています。そのために職員も一丸となって生徒たちを全力で支援していく決意です。保護者の皆様には、これまで通りPTA活動をはじめ本校へのご理解とご協力を心からお願いいたします。

避難訓練・通学路点検・救急救命法



救急救命法に参加しての感想より

3年前に参加しました。忘れていたこともあり、勉強になりました。実際に現場ではパニックになってしまうかと思います。今日の講習を思い出し、できるだけ冷静に対処できるようにしたいと思います。

初めて参加しましたが、とても緊張しました。万が一はない方が良くはありますが、知っていることは命につながると思うととても真剣になりました。コロナがなければ大勢の方に参加してほしいです。



5月26日に火災を想定した避難訓練を行いました。今年度初めての訓練なので、避難経路を確認したり、避難後の動きの確認をしたりしました。その後地区別に並び替えて、通学路安全点検を行いました。PTA校外指導部のみなさんにも協力していただきました。子ども園と西小も、偶然同じ日に引き渡し訓練を行っていました。今日は落ち着いて行えましたが、大きな災害が起きた場合は行き違いがあったり、連絡がつかなかったり、妹や弟の心配もしなければならなかったりするはずです。家庭でも防災について話し合う機会をもちましょう。

また、6月23日には日赤ボランティア指導員の方を講師にお招きし、PTA総務部会主催で「救急救命法講習会」を行いました。AEDの使用方法を含め、コロナでも研修できる内容で行いました。熱中症についても注意が必要になるので、今回の研修を生かしていきたいと思っています。

1 学期の思い出 『修学旅行・校外学習』

『修学旅行を終えて』

3年A組 稲垣 琴乃

五月一八日から五月二〇日まで、奈良と京都に修学旅行へ行きました。奈良では、法隆寺や東大寺、奈良公園へ、京都では、清水寺や金閣寺などを訪れました。

今回の旅行では、主に二つのことを学びました。一つ目は、京都の方々の優しさです。清水寺で友達とはぐれてしまったとき、声をかけてくれた人がいました。全く知らない人だったのでびっくりしましたが、笑顔で優しく話しかけてくれたので、安心することができました。この出来事から、私も人の心に寄り添えるような優しい人になりたいと思いました。二つ目は、歴史のすばらしさです。京都の文化財の技術の高さは知っていましたが、間近に見たことで、とても驚きました。細かく彫られた模様や釘を一切使わない建築、バリエーション豊かな庭園など、一つ一つに特徴があり面白かったです。また、これらの建築物から「伝統を守っていく」という先人の思いが感じられました。

三日間の修学旅行を通して、これから一日一日の学校生活を大切にしていきたいと思いました。今年は受験もあるということもありますが、私は仲間との日々を大切にしたいです。このメンバーで過ごす最後の一年なので、悔いの残らないようにしたいです。



『前の自分を越えた二日間』

2年A組 古屋 英里香

「Limit break」六七の団結力で富士山を越えてみせろ」このスローガンのもとで過ごした五月一九日・二〇日は、私たち二年生にとって、日本が誇る富士山と触れ合えた校外学習となりました。

私がこの二日間で学んだことは、何かを成功・達成させるためには、皆の力が必要だということです。今回の校外学習を無事に行ってこられたのは、先生方や仲間が居てくれたからだと思います。学年の六七人は、西中で出会った素敵な仲間たちです。この二日間は、参加した誰一人の力も欠けることなく、たくさん協力できて、助け合いの輪が広がりました。富士風穴では、洞窟の中に入りました。中は想像以上に冷たくて、ここではカイコの卵を冷やし、保管して育てることなどしていたことを学びました。また、見学の途中では「あと少し、頑張つて」など、たくさんの励ましの声が聞こえてきて、改めていい集団だなと思いました。

この二日間で二年生はたくさんを知り、身に付け、仲間と協力する大切さを学びました。校外学習で学んだことを当日だけで終わらせず、これからの学校生活で形として残していきたいと思います。また、コロナ禍の中でしたが、私たちのために、校外学習に関わってくださった方々への「ありがたみ」を忘れず、これからも昨日の自分を越えるために、日々前進していきたいです。



『校外学習を終えて』

1年B組 松吉 咲衣乃

五月末、私たち一年生は、ゆずりはら青少年自然の里に校外学習で行きました。前日から天気心配されていましたが、なんとか持ちこたえて当日を迎えました。その中でも特に心に残っていることは次の二つです。

一つ目は、皆でクラフトをしたことです。私は木の棒を使いスプーンを作りました。（このスプーンは妹にプレゼントしました）

二つ目は、班の人たちとウォークラリーに行ったことです。とても大変だったけど、皆で協力してゴールできて嬉しかったです。

私は今回、自然の里で様々な体験を通してあらためて自然の大切さや素晴らしさを感じることができました。

私のこれからの学校生活への抱負は、自然を大切にすることです。最近は地球温暖化が大きな問題になっているので、自分ができることをやっていき、少しでもこの世界に貢献できればいいと思います。



学校HPにはカラー版が掲載されています。
ぜひそちらもご覧ください。